

室内ドア

引き戸本体

施工・取扱説明書

このたびは、室内ドアをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

●施工される方へ〔施工説明書 P 1～P 8〕

開梱時において、万一、梱包や製品にキズ等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。
施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますので、ご了承願います。
また本説明書に基づき正しく施工後、本説明書を必ずお施主様へお渡しください。

●お施主様へ〔取扱説明書 P 8〕

ご使用前に必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになられたあと、大切に保管してください。

安全上のご注意

●表示内容を見逃して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分して説明します。



注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分して説明します。



禁止

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。



強制

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

もくじ

施工上のご注意	2
1. 部材・部品表	3～4
2. 姿図	4
3. 施工手順	5
4. 施工終了後	6～7
5. 養生・お手入れ方法	
5-1. 養生	8
5-2. お手入れ方法	8
6. ご使用上のご注意	8

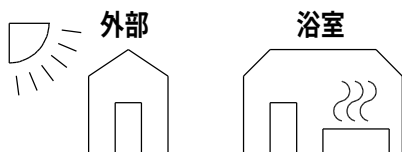
施工上のご注意

以下の注意事項は、施工される方や住まれる方への危害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

注意

- 本説明書は当社カタログ標準品に準じた寸法などの表示をしております。特注・特寸対応した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工を行ってください。
- 本製品はホルムアルデヒドなどの空気環境を考慮したのですが、施工の際にご使用になる現場調達品（銅木・接着剤など）によっては空気環境対策外の製品となる場合がありますのでご注意ください。

本製品は、一般住宅用（室内専用）です。
業務用や屋外または屋外に面する場所や浴室などに使用しないでください。



反りや変形の原因になりますので、製品到着後はすみやかに施工してください。また、開梱時には必ずキズの有無・部品のチェックを行い、開梱後は長く放置しないでください。キズが付く恐れがあります。

本説明書と異なる施工は行わないでください。間違った施工は思わぬ事故や故障の原因となります。また、本説明書と異なる施工で発生した製品の不具合についての返品・取替えはご容赦ください。

引き戸枠を施工する際は水平・垂直を確認し、下図のような状態にならないように取り付けてください。引き戸が閉まりにくくなったり、すき間ができる原因となります。



傾き ずれ たいこ つづみ ねじれ

引き戸枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、乾燥した銅木を入れてください。

引き戸本体のファインモーション金具および簡易ブレーキ金具は、取り外さないでください。
また、ファインモーション金具にあるオイルユニットのオイルを抜いたり、注入したりすると故障の原因になります。

本製品の組み立て・施工時には同梱の指定ビスを使用してください。他のビスを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆるみなどの原因となります。（本説明書内で「現場調達」と記載している場合は除きます）

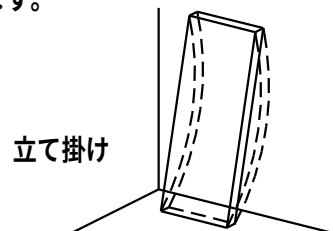
コンクリートやモルタルに直接施工しないでください。やむを得ず施工する場合には、必ず防水処理をしてください。

養生シートを使用する際は、粘着テープ等を化粧面に貼らないでください。テープをはがす際に化粧シートがはがれる恐れがあります。

建築工事中はドア本体を養生・保全し、施工完了後に吊り込むことをおすすめします。

製品施工後は水などで、引き戸本体・引き戸枠を濡らさないようにしてください。

施工が完了するまでは、引き戸本体や枠セットを水平に保管してください。立て掛けた状態での保管は反り発生の原因となります。

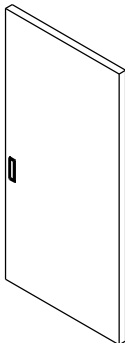
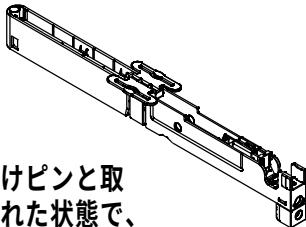
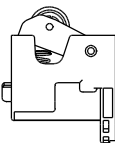
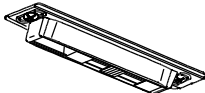
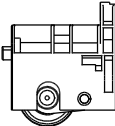
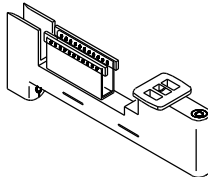


ファインモーション受けピンや簡易ブレーキ受け金具、閉止め金具が、必ず所定位置（鴨居レールに取り付け穴加工済み）に取り付けているかご確認ください。
また、引き戸本体を吊り込んだり、外す際には、必ずファインモーション受けピンや簡易ブレーキ受け金具、閉止め金具に衝突しないよう避けた位置にて作業を行ってください。

1. 部材・部品表

施工前に部材・部品の梱包内容をお確かめください。

■引き戸本体

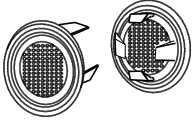
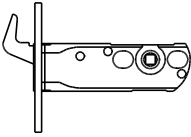
部材名・形状	入数	部材名・形状	入数
引き戸本体 	1	ファインモーション金具 (引き戸本体に取り付け済み)  (ファインモーション受けピンと取り付けビスは袋詰めされた状態で、引き戸本体のファインモーション金具にセットされています。)	※ 1
左右調整上戸車 (引き戸本体に取り付け済み) 	※ 1	簡易ブレーキ受け金具 (取り付けビス付き) 	※ 1
2次元調整戸車 (引き戸本体に取り付け済み) 	2	簡易ブレーキ金具 (引き戸本体に取り付け済み)  (簡易ブレーキ受け金具と取り付けビスは袋詰めされた状態で、引き戸本体の簡易ブレーキ金具にセットされています。)	※ 1
引き手 (引き戸本体に取り付け済み) 	2		
施工・取扱説明書 (本説明書)	1		

※ 1. ファインモーション金具、簡易ブレーキ金具および受け金具、左右調整上戸車の入数は、下表の通りになります。

部材名	引き戸本体の品番 (4ページ 2. 姿図) 参照	VD-●BH~ VDD-●BH~	VD-●KH~ VDD-●KH~	VDD-●H~	オプション「+L」 の場合
ファインモーション金具		1	—	—	—
簡易ブレーキ金具および受け金具		1	2	1	—
左右調整上戸車		—	—	1	2

(表中の●には製品連番が入ります。)

■洗面所用引き戸本体・トイレ用引き戸本体

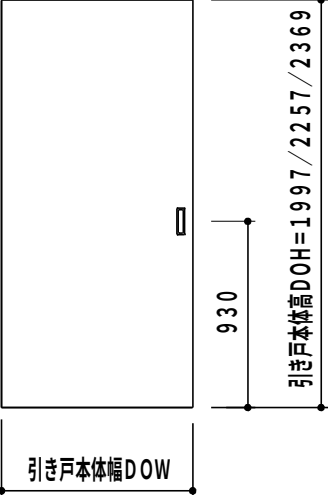
部材名・形状（オプション）	入数	部材名・形状（オプション）	入数
※2 スモールライト （引き戸本体に取り付け済み） 	1	チューブラ錠 （引き戸本体に取り付け済み） 	1
		※3 鎌錠サムターン 	1

- ※2．トイレ用引き戸本体のみ標準仕様となります。
- ※3．洗面所用引き戸本体は間仕切鎌錠、トイレ用引き戸本体は表示錠になります。
品番が「VDD-」で始まる製品には、鎌錠サムターンが同梱されています。

2. 姿図

■引き戸本体（VD・ZD）

（単位：mm）



VD-●△△△■◆☆※

→ 色柄

→ デザイン記号

高さ寸法記号	DOH
7	1997
8	2257
9	2369

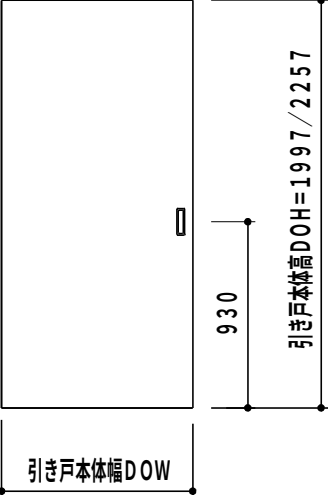
→ 開口アイテムと部品構成を表す記号

→ 製品連番

VD：スキスムスタンダード ZD：スキスムトレンド

幅寸法記号	DOW
10	587
15	717
21	799
22	813
23	828
30	814
40	858

■引き戸本体（VDD）



VDD-●△△△■◆☆※

→ 色柄

→ デザイン記号

高さ寸法記号	DOH
7	1997
8	2257

→ 開口アイテムと部品構成を表す記号

→ 製品連番

幅寸法記号	DOW
10	587
15	717
20	736
30	814
40	858
50	878

3. 施工手順

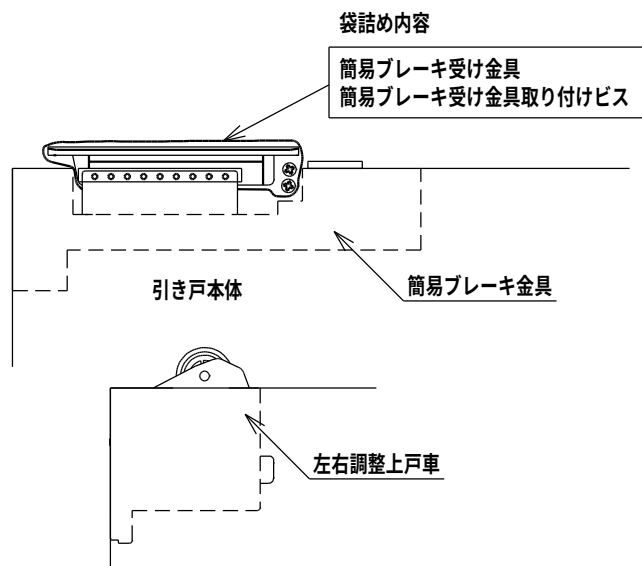
- ①簡易ブレーキ受け金具の確認および取り付け
引き戸本体の上部に取り付けられている金具を確認してください。

【簡易ブレーキ金具がある場合】

- ・簡易ブレーキ受け金具と取り付けビスは、引き戸本体の簡易ブレーキ金具に、袋詰めされた状態でセットされています。
- ・簡易ブレーキ受け金具、取り付けビスを袋から取り出してください。
- ・簡易ブレーキ受け金具は、引き戸枠の施工・取扱説明書をご覧くださいの上、同梱の取り付けビスにて鴨居レールに取り付けてください。

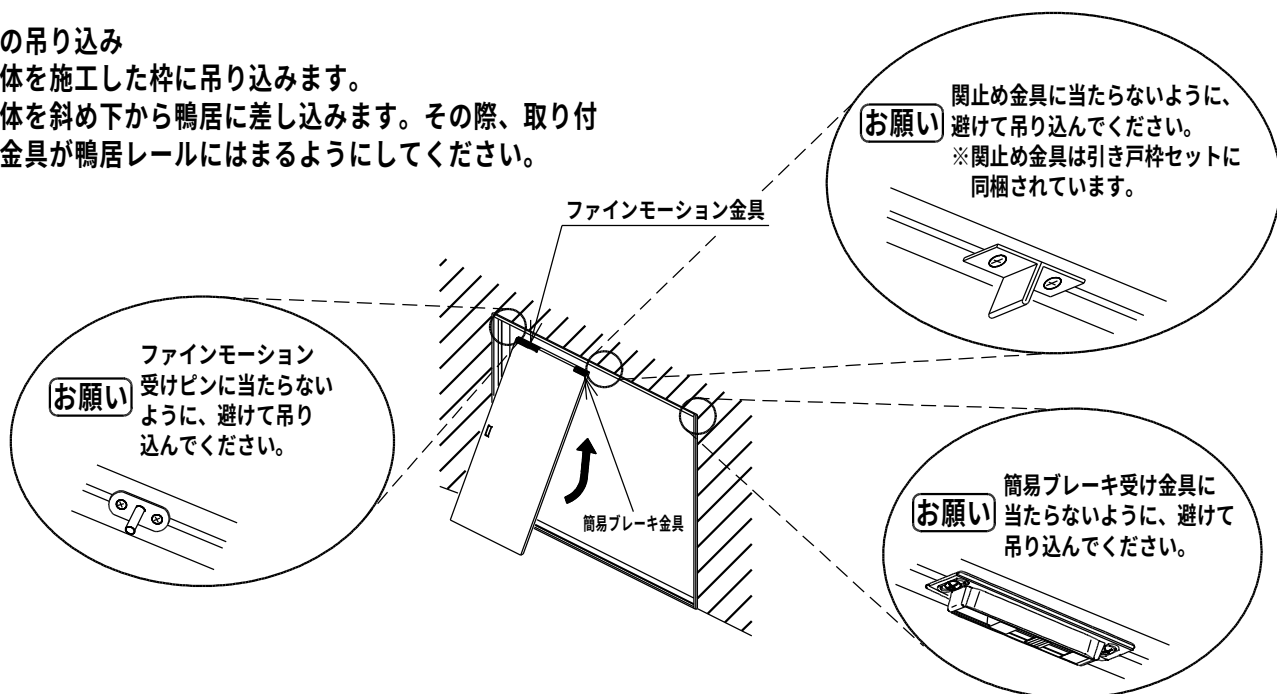
【ファインモーション金具および簡易ブレーキ金具がない場合】

- ・左右調整上戸車が付いています。

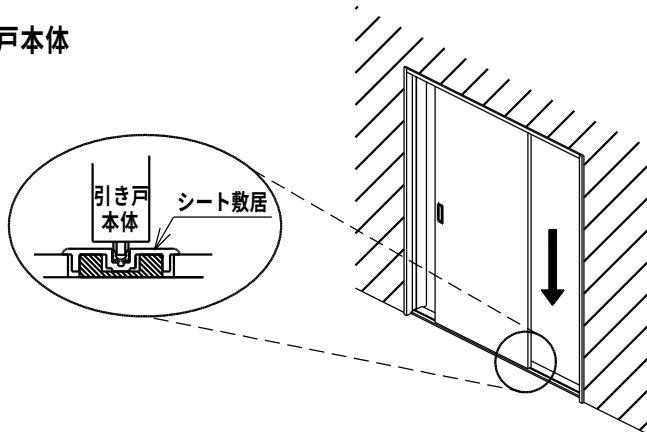


- ②引き戸本体の吊り込み

- ・引き戸本体を施工した枠に吊り込みます。
- ・引き戸本体を斜め下から鴨居に差し込みます。その際、取り付けてある金具が鴨居レールにはまるようにしてください。



- ・引き戸本体下の戸車が敷居レールにはまるように引き戸本体を下ろしてください。



- ③引き戸の吊り込み完了後、一度引き戸を閉じる方向に押し込んでください。パチン！という音がなります。
通常使用時と同様に引き戸を「開けて→閉じる」動作をおこない、ファインモーション機構の作動確認を行ってください。

4. 施工終了後

■各種金具の調整方法

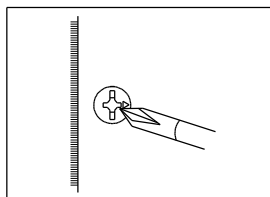
引き戸本体の施工後に、すき間・ガタツキなどがある場合は、以下の要領で金具の調整を行ってください。

お願い

調整には、ハンドドライバーをご使用ください。
電動ドライバー等を使用すると金具が破損する恐れがあります。

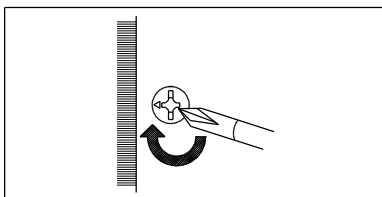
●中方立調整部材の調整方法

モヘア出寸法は
初期設定で3.5mmです。



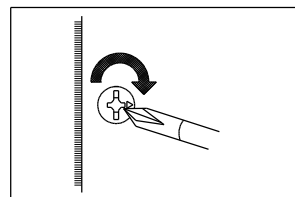
▲マークが
調整部材と
反対の位置

ツマミを半回転すると、
出寸法が11.0mm（最大）になります。



▲マークを
半回転

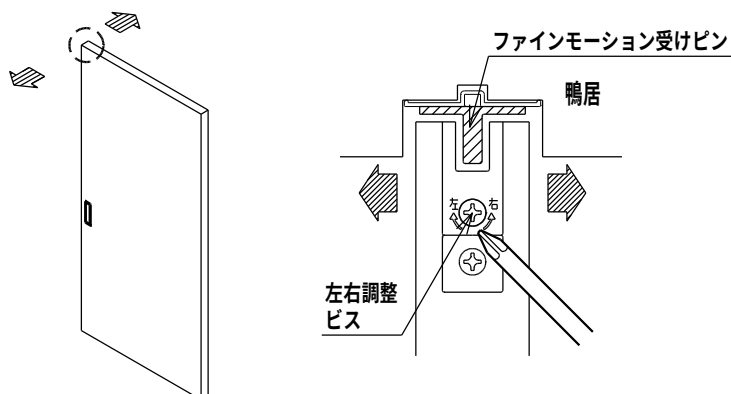
さらに半回転すると、
元の3.5mmに戻ります。



再び▲マークを
半回転
（元の位置）

●ファインモーション金具の調整方法

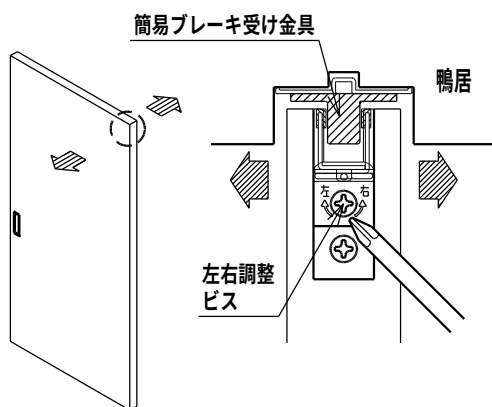
左右調整ビスにより、引き戸本体を左右に調整する。



- ・調整範囲：
基準位置より右に2mm、左に2mm
- ・左右調整ビスを
右に回すと引き戸本体が左へ動きます。
左に回すと引き戸本体が右に動きます。

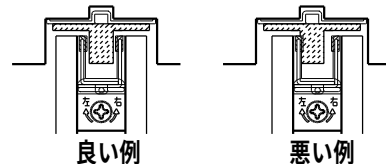
●簡易ブレーキ受け金具の調整方法

左右調整ビスにより、引き戸本体を左右に調整する。



- ・調整範囲：
基準位置より右に2mm、左に2mm
- ・左右調整ビスを
右に回すと引き戸本体が左へ動きます。
左に回すと引き戸本体が右に動きます。

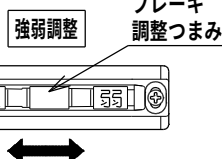
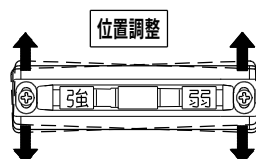
簡易ブレーキ受け金具が簡易ブレーキ金具の中央になるように調整してください。



良い例

悪い例

簡易ブレーキ受け金具は、調整可能です。



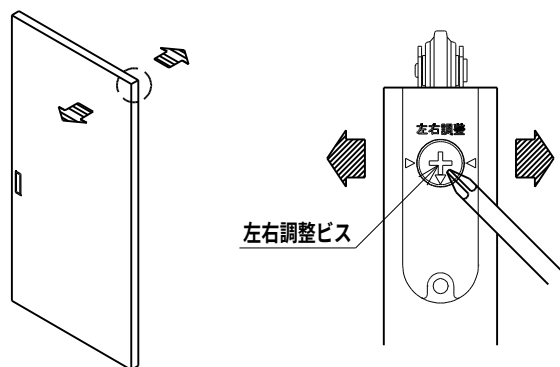
ブレーキ調整つまみを左右に動かしてブレーキの強弱が調整できます。
引き戸本体を強く動かしても戸車が脱線しない程度に調整してください。

お願い

調整には、ハンドドライバーをご使用
ください。電動ドライバー等を使用
すると金具が破損する恐れがあります。

●左右調整上戸車の調整方法（左右調整）

左右調整ビスにより、引き戸本体を左右に調整する。



- ・調整範囲：基準位置より、左右各2mm
- ・左右調整ビスを右に回すと引き戸本体が右に移動します。
- ・左右調整ビスを左に回すと引き戸本体が左に移動します。



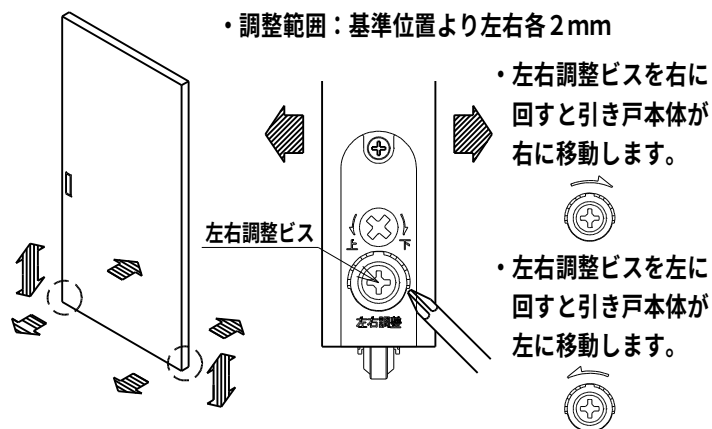
お願い

調整には、ハンドドライバーをご使用ください。
電動ドライバー等を使用すると金具が破損する恐れがあります。

●2次元調整戸車の調整方法（左右・上下調整）

①左右調整ビスにより、引き戸本体を左右に調整する。

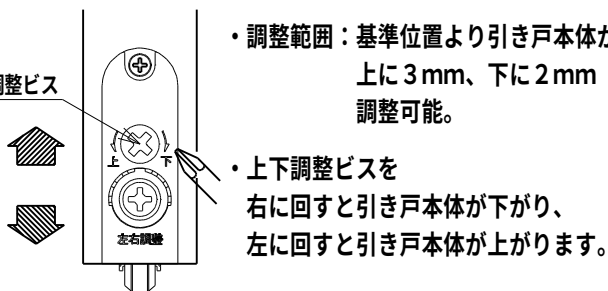
- ・調整範囲：基準位置より左右各2mm



- ・左右調整ビスを右に回すと引き戸本体が右に移動します。
- ・左右調整ビスを左に回すと引き戸本体が左に移動します。

②上下調整ビスにより、引き戸本体を上下に調整する。

- ・調整範囲：基準位置より引き戸本体が上に3mm、下に2mm調整可能。



- ・上下調整ビスを右に回すと引き戸本体が下がり、左に回すと引き戸本体が上がります。

お願い

調整には、ハンドドライバーをご使用ください。
電動ドライバー等を使用すると金具が破損する恐れがあります。

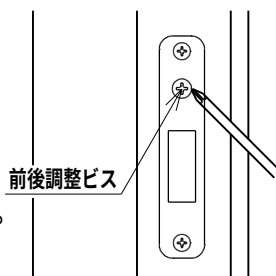
■鎌錠がかかりにくい場合の調整

●鎌錠ストライクで調整

（引き分け戸には取り付けできません）

前後調整ビスにより、鎌錠の鎌部分のかかりを調整する。

- ・調整範囲：基準位置より調整ブロックが奥に2.8mm調整可能。
- ・前後調整ビスを左に回すと調整ブロックが奥に動きます。



お願い

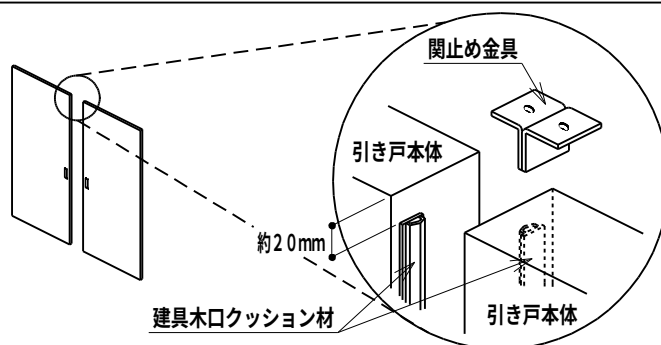
調整には、ハンドドライバーをご使用ください。
電動ドライバー等を使用すると金具が破損する恐れがあります。

■2本の引き戸本体の間にすき間ができる場合

●建具木口クッション材の取り付け

（引き分け戸枠、4枚2本引き戸枠の場合のみ同梱されています）

- ・建具木口クッション材の裏面の両面テープで、引き戸本体の木口に交互に貼り付けてください。
- ・建具木口クッション材が、閉止め金具に当たらないように、引き戸本体の上端より約20mm程下げた位置に貼り付けてください。



5. 養生・お手入れ方法

5-1. 養生

- ・当て傷・擦り傷等がつかないように保護シート等で養生してください。

5-2. お手入れ方法

- ・引き戸本体が汚れている場合は、水を含ませた雑巾を固く絞り、拭き取ってください。
金属はやわらかい布で乾拭きしてください。
- ・採光部の樹脂板が汚れている場合は、やわらかい布で乾拭きしてください。
汚れが酷い場合は、薄めた中性洗剤（1%以下）を柔らかい布に付け軽く拭いてください。



- ・酸性、アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
シートのフクレ・シワやシミ・艶ムラ、塗装・メッキのはがれやサビ等の原因となります。
- ・採光部の樹脂板には溶剤を含むもの（ガラスクリーナー・殺虫剤・塗料など）は絶対に使用しないでください。
艶ムラやキズ・変形・クラックの原因となります。
- ・レールおよびファインモーション金具には、潤滑油等を塗布しないでください。
ブレーキ力が弱まり、ファインモーション機構が作動しなくなる場合があります。

6. ご使用上のご注意

- ・ファインモーション機構や簡易ブレーキ機構は、引き戸本体を開閉した際に発生する衝突音を抑え、引き戸本体の跳ね返りを少なくするもので、指挟み等を防止するものではありません。
- ・ファインモーション金具のオイルダンパーが室温などの影響を受けて、引き戸の閉まる速度が変わる場合があります。
- ・ファインモーションの機能が働かなくなった場合は、一度引き戸本体を完全に閉めてください。



- ・引き戸本体に取り付いているファインモーション金具および簡易ブレーキ金具は、取り外さないでください。
また、オイルユニットのオイルを抜いたり、注入すると故障の原因になります。
- ・引き戸本体の開閉は静かに行ってください。勢いよく閉めるとブレーキ機構が破損する恐れがあります。
- ・引き戸に寄りかからないでください。転倒や引き戸の破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。
- ・開閉にあたっては、引き戸どうしのすき間や枠のすき間に手を置かないでください。指を挟んでケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。引き戸の反り、変色、火災などの原因になります。
- ・引き戸に粘着テープでポスターなど貼らないでください。表面が傷む恐れがあります。
- ・本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材質の特性により表面が膨れたり、シミ、変色などが発生する恐れがあります。
- ・使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取り付け部分などの確認をしてください。ご自身で対処できない場合には、施工店にご相談ください。
- ・敷居レールに、ホコリや砂が付着すると引き戸の走行に支障が生じる場合がありますので、こまめに掃除をしてください。

取り付け・修理・補修部品などのご相談は、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問い合わせください。

永大産業株式会社

<http://www.eidai.com>

内装システム事業部

お客様相談センター



0120-685-110

受付時間 平日 9:00~18:00 土曜日 9:00~18:00

休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

E-mail: cs@eidai-sangyo.co.jp

S841Ie1903nKEP 第4版